

岡山東統括本部

農業振興計画



1. 取組方針

地域農業における担い手不足、高齢化、耕作放棄地の拡大といった課題に対応し、「持続可能な農業」を実現するため、安全・安心な農畜産物を安定的に供給できる産地づくりと消費者や実需者ニーズに対応した「農業生産の拡大」に取り組み、多様な販路の拡大や契約取引の拡大を進め、農畜産物の有利販売を実現し「農業者の所得増大」をめざします。

また、新規就農者の受入や集落営農の組織化・法人化、農業管理支援による担い手育成・確保と担い手経営体の高度なニーズに対応する営農指導体制の強化に取り組みます。

2. 農畜産物の生産振興

広域振興作物と地域振興作物の生産拡大と、品質向上対策によるブランド強化を図り、実需者に求められる競争力のある産地育成をめざします。

耕種作物は、地域に適した作付け品種を基本に、売れる米づくりとして推奨品種「コシヒカリ、ひとめぼれ、ヒノヒカリ、きぬむすめ、朝日、アケボノ、にこまる」に集約を進め、ロットの拡大と、食味分析を活用した高品質な良食味米を生産することで競争力のある米産地の育成に取り組みます。

特に、牡蠣殻を有効利用する循環環境保全型事業「瀬戸内かきがらアグリ」に取り組み、里海米の安定生産による農家経営の持続的な発展を図ります。

また、酒造好適米「雄町」は、酒造好適米協議会と連携し、既存産地を中心に、酒造会社との契約栽培等により、実需者ニーズに合わせた計画的な生産を推進します。

水田活用米穀については、実需者ニーズを把握しながら、大麦では、経営所得安定対策交付金の有効利用、豆類（小豆・ササゲ）では契約栽培による需要量の確保・拡大を図ります。

果樹は、主要なモモ、ブドウ（ピオーネ、シャインマスカット、オーロラブラック）と地域特産のマスカット・オブ・アレキサンドリア、太秋柿、イチゴ、イチジク、日生ミカンを「おかやまはれフル」として産地情報を発信し、産地の維持拡大を図ります。

野菜は、広域品目「ナス、キュウリ、黄ニラ、スナックエンドウ、白ネギ」を「おかやまはれベジ」として情報発信し、産地の維持・拡大を図ります。

また、全農との連携のもとに、水稻の裏作・転作品目として加工業務用野菜「キャベツ」を取り入れ、安定的な所得の向上に取り組みます。

花きは、高台地での栽培が適している「リンドウ」の安定生産を図ります。

1) 米集荷目標

(単位:俵)

品種・銘柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
コシヒカリ	2,068.0	2,700.0	2,700.0	2,700.0	2,700.0
ひとめぼれ	1,875.0	2,300.0	2,300.0	2,300.0	2,300.0
きぬむすめ	20,145.0	27,000.0	27,400.0	27,600.0	27,600.0
ヒノヒカリ	5,099.0	7,000.0	6,700.0	6,700.0	6,700.0
にこまる	4,340.0	5,400.0	5,400.0	5,400.0	5,400.0
朝 日	7,317.5	9,500.0	9,600.0	9,600.0	9,600.0
アケボノ	3,951.0	5,200.0	5,200.0	5,200.0	5,200.0
その他うるち	917.0	1,000.0	800.0	600.0	600.0
雄 町	15,580.5	12,500.0	12,500.0	12,500.0	12,500.0
も ち	211.5	300.0	300.0	300.0	300.0
合 計	61,504.5	72,900.0	72,900.0	72,900.0	72,900.0
(うち買取)	515.5	500.0	500.0	500.0	500.0

1) -1 里海米

(単位:俵)

品種・銘柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
きぬむすめ	883.0	1,400.0	1,800.0	2,000.0	2,000.0
朝 日	1,047.5	1,600.0	1,700.0	2,000.0	2,000.0
合 計	1,930.5	3,000.0	3,500.0	4,000.0	4,000.0

2) 麦・大豆集荷目標

(単位:t)

品種・銘柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大 麦	128.6	140.0	140.0	140.0	140.0
黒 大豆	9.2	14.9	15.6	16.4	16.4
白 大豆	13.7	13.4	13.4	13.4	13.4
合 計	151.5	168.3	169.0	169.8	169.8

3) 広域重点振興品目(種)の生産・販売目標

生産者組織と連携し、基本技術の励行による安定生産と出荷量の増大を図りブランド力向上による競争力のある産地づくりを進めます。

○モモ

部会活動を中心に共選・共販体制を強化し、産地づくりを推進します。特に岡山県の育成品種である極晩生品種「白皇」の出荷が始まることから、「日川白鳳」「加納岩白桃」「白鳳」「千種白鳳」「清水白桃」「おかやま夢白桃」「白麗」「白皇」「黄金桃」まで長期間連続出荷できる体制を確立し、より一層の産地強化を図ります。

○ピオーネ

収益性の低い園地等は、計画的に補助事業等を活用し、改植による樹の若返りにより、出荷量の増大を図ります。

○シャインマスカット

産地間競争が激化する中、高品質な差別化商品の供給増大の要望に応え、プレミアム規格を設定しています。栽培マニュアルを活用し、栽培技術のレベルアップによる出荷量増大と統一した高品質化に努め、管内産地が連携した長期連続供給体制を構築し、販路拡大による農家所得の向上を図ります。

○オーロラブラック

成園化による出荷量の増大が期待できます。品種特性として脱粒しにくい利点で輸送性が優れていることから、大都市市場への集約販売による所得増大を図ります。

○キュウリ

ハウス栽培・露地栽培を組み合わせた長期安定生産を行うとともに、新規栽培者の掘り起こしを図り産地維持に努めます。

○黄ニラ

施設の有効活用による、周年出荷体制を維持します。継続して定年帰農者・新規就農者の掘り起こしを図ります。

○ナス

高品質で安定生産技術を平準化し、生産力の向上と省力栽培技術の習得による産地拡大を図ります。

○スナックエンドウ

軽労働作目で収益性の高い野菜として、広域的に生産振興に取り組み、安定生産を図ります。

○白ネギ

栽培適地の選択と土づくりの徹底を図るとともに、作型別の品種選択によって収穫期間の延長を図り、周年出荷体制を確立します。また、全農による契約取引を推進し作業負担の軽減、規模拡大を図ることにより、生産量の維持・拡大と安定供給体制の確立をめざします。

○小豆(ササゲ含む)

実需者ニーズに応えるため、契約的栽培で安定した所得による産地拡大に努めます。

(単位:上段 生産面積 ha、下段 販売高 百万円)

品 目 名	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
モ モ	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5
	174.8	236.2	253.8	279.4	279.4
ピオーネ	42.2	41.4	41.7	41.5	41.5
	110.4	124.6	127.0	131.9	131.9
シャイン マスカット	12.7	13.6	14.2	14.6	14.6
	149.9	176.8	187.3	199.6	199.6
オーロラ ブラック	3.9	4.0	4.1	4.2	4.2
	8.5	12.1	12.1	13.1	13.1
キュウリ	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
	11.2	10.2	10.2	10.2	10.2
黄 ニ ラ	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8
	18.7	18.4	18.7	19.9	19.9
ナ ス	3.7	3.9	3.9	4.0	4.0
	88.8	105.4	108.9	111.3	111.3
スナック エンドウ	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
	21.6	22.1	22.2	22.3	22.3
白 ネ ギ	11.6	12.4	12.4	12.5	12.5
	42.8	46.2	46.1	46.3	46.3
小 豆 (ササゲ含む)	3.7	4.3	4.7	5.9	5.9
	2.5	2.7	3.0	3.4	3.4
合 計	181.8	183.4	184.9	186.6	186.6
	629.2	754.7	789.3	837.4	837.4

4) 地域振興品目の生産・販売目標

地域の立地条件や特色を活かしながら安定生産に努め、産地の維持を図ります。

(単位: 上段 生産面積 ha、下段 販売高 百万円)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
マスカット・オブ・アレキサンドリア	2.8	2.6	2.4	2.3	2.3
	13.6	14.3	12.2	11.4	11.4
カキ	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
	6.8	8.2	8.2	8.2	8.2
イチゴ	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	15.3	18.2	18.2	18.2	18.2
イチジク	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	9.2	9.6	9.6	9.6	9.6
ミカン(柑橘類)	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4
	3.4	2.7	2.7	2.7	2.7
エンダイブ	3.5	2.5	2.6	2.8	2.8
	52.6	48.3	49.4	51.0	51.0
リンドウ	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
	1.6	1.3	1.4	1.4	1.4
合計	23.7	22.5	22.4	22.5	22.5
	102.5	102.6	101.7	102.5	102.5

5) 加工業務用の販売推進目標

全農と連携し大型米麦農家を中心に、水稻の裏作・転作品目として、収益の見通しが立てやすい加工業務用キャベツの契約栽培を推進し、安定的な農業所得の向上に取り組みます。

(単位: 販売高 百万円)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
キャベツ	13.2	14.7	14.7	14.7	14.7
合計	13.2	14.7	14.7	14.7	14.7

6) JA農産物直売所を通じた農産物の生産振興

農産物直売所は季節に応じた多品目の農産物の生産が求められ、計画的な栽培で安定出荷できる体制づくりに努めます。

(単位:上段 販売高 百万円、下段 会員数 名)

直売所名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アグリびぜん	37 170	36 170	36 170	36 170	36 170
百菜市場和気店	212 557	240 550	245 550	250 550	250 550
合計	249 727	276 720	281 720	286 720	286 720

7)畜産物の生産・販売目標

関係機関と連携し、優良子牛の安定生産を図ります。

(単位:上段頭数 頭、下段販売高 百万円)

畜種	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
子牛	33 23.1	30 21	30 21	30 21	30 21
合計	33 23.1	30 21	30 21	30 21	30 21

3. 担い手・新規就農者の育成

農畜産物の生産維持・拡大を図るため、担い手・新規就農者の確保・育成に、行政及び関係機関と連携により取り組みます。

1)担い手経営体への対応

重点振興品目の作付推進、新規作物の導入等による多角化により、認定農業者の確保・育成を図ります。また、行政等と連携し集落営農の組織化、法人化支援を図ります。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定農業者	171	175	181	187	187
集落営農組織	16	16	16	17	17
集落営農法人	2	2	2	2	2
合計	189	193	199	206	206

2) 新規就農者への対応

行政等と連携し研修受入農家、空き農地・施設の活用により、新規就農者の受入れを実施します。また、技術指導等により、地域の中心となる担い手への育成を行います。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規就農者	8	9	9	9	9
合計	8	9	9	9	9

※単年度の経営体数です。

4. 生産者組織

(単位:名)

地区	組織名	構成員数	備考
本店	酒造好適米協議会	79	
	モモ部会	400	
	ブドウ生産協議会	357	
	青色申告会	90	
	里海米生産部会	74	
山陽基幹支店	モモ部会 山陽支部	260	
	山陽ブドウ部会	152	
	エンダイブ部会	23	
	黄ニラ部会	16	
	スナックエンドウ部会	24	
	ナス部会	12	
	里海米生産部会 山陽支部	28	
瀬戸支店	モモ部会 瀬戸支部	96	
	瀬戸ぶどう部会	42	
	大内太秋柿生産組合	20	
	瀬戸町白葱出荷組合	10	
	夏秋ナス部会	8	
	瀬戸町雄町部会	36	
	里海米生産部会 瀬戸支部	10	
赤坂支店	モモ部会 赤坂支部	44	
	赤坂ぶどう部会	57	
	西窪田いちご出荷組合	4	
	赤坂柿生産出荷組合	10	
	赤坂洋梨生産組合	3	
	赤坂ナス生産出荷組合	8	
	赤坂スナックエンドウ部会	4	
	赤坂特産雄町米研究会	26	

岡山東統括本部

地 区	組織名	構成員数	備考
熊山支店	熊山支店ぶどう部会	27	
	熊山支店ネットワーク部会	29	
	熊山白ネギ部会	17	
	里海米生産部会 熊山支部	7	
吉井支店	吉井ぶどう生産出荷組合	28	
	吉井野菜生産部会	26	
	吉井椎茸生産部会	5	
	吉井花卉園芸部会	2	
	里海米生産部会 吉井支部	16	
備前基幹支店	備前ぶどう部会	14	
	備前市イチジク部会	16	
	日生町みかん生産組合	8	
	里海米生産部会 備前支部	6	
和気営農物流センター	桃研究会	7	
	和気町いちじく生産組合	5	
	和気町白ねぎ研究会	32	
	タマネギ部会 和気支部	5	
	里海米生産部会 和気支部	6	
佐伯支店	丸和ブドウ出荷組合	30	
	山原ブドウ出荷組合	7	
	和気町夏秋ナス部会	18	
	東備地域リンドウ栽培研究会	4	
吉永支店	里海米生産部会 吉永支部	1	

平成31年3月末現在